

# 第四期特定健康診査等実施計画

---

日本ハム健康保険組合

最終更新日：令和6年03月27日

# 特定健康診査等実施計画（令和6年度～令和11年度）

背景・現状・基本的な考え方【第3期データヘルス計画書 STEP2から自動反映】			
No.1	<b>【医療費の課題】</b> ・医療費は毎年増加傾向で、新生物（がん）が最も多く全体の約1割を占め、全国平均も上回っている。 ・40歳以上で新生物（がん）、50歳以上で循環器系疾患が急激に増加。30代女性は婦人科系疾患の医療費割合が高い。	→	<b>【がん検診】</b> ・5大がん検診の実施率向上に向けた取り組み強化 ・従来のがん検診の見直し
No.2	<b>【精神系疾患】</b> ・メンタル不調による休職者は、人数・支給額・支給日数ともに増加傾向で日数では全体の約5割を占め長期化傾向が見られる。	→	<b>【メンタル不調者】</b> ・高ストレス者へ個人アプローチ強化 ・総合健康リスク低減のために職場アプローチ強化 ・傷病手当金支給内容を産業医へ共有し対策を講じる
No.3	<b>【生活習慣病・メタボ】</b> ・メタボ該当率及び有所見者（血糖・血圧、脂質）は年齢を追うごとに増加し、生活習慣病の有病率もそれに比例する。 ・血糖・血圧・脂質の要治療者の内、医療機関未受診者が一定数存在している。	→	<b>【生活習慣病】</b> ・ヘルスリテラシー向上による取組 ・特定保健指導の充実 ・未受診者・管理不良者へ受診勧奨及び管理
No.4	<b>【生活習慣】</b> ・適切な食事習慣は全国平均を下回っている。 ・生活習慣の改善割合は若年層は低く、年齢を追うごとに改善傾向にある。 ・喫煙者は男性は全年代2.30%存在する。女性は10%台だが年齢とともに増加 ・飲酒習慣は29歳以下が高く、依存度は女性が高い傾向にある	→	<b>【生活習慣】</b> ・若年層への働きかけ ・運動、食事、飲酒、喫煙の生活習慣改善の取組 ・職場環境の整備とインセンティブ等の活用
No.5	<b>【新生物】</b> ・女性のがん（子宮・乳房）検診の受診率は低い傾向であるが、40代から増加傾向にある。 ・胃がんの受診率は半分以下である	→	<b>【がん検診】</b> ・子宮・乳がん検診の受診機会の創出 ・胃がん検診方法の見直し・検討
No.6	<b>【歯科医療費】</b> ・総医療費に占める割合が最も高い。 ・4.50代以上の医療費が男女ともに1千万超である。 ・年齢を追うことに一人当たりの医療費は高くなる。	→	<b>【歯科健診】</b> ・無料歯科健診の推奨 ・問診結果で不具合を認められる人への受診勧奨

基本的な考え方（任意）
<p>1 特定健康診査等の基本的考え方                      日本内科学会等内科系8学会が合同でメタボリックシンドロームの疾患概念と診断基準を示した。これは、内臓脂肪型に起因する糖尿病、高脂血症、高血圧は予防可能であり、発症した後も血糖、血圧をコントロールすることにより重病化を予防することが可能であるという考え方を基本としている。メタボリックシンドロームの概念を導入することにより、内臓脂肪の蓄積や、体重増加等が様々な疾患の原因になることをデータで示すことができるため、健診受診者にとって生活習慣の改善に向けての明確な動機付けができるようになる。</p> <p>2 特定保健指導の基本的考え方                      生活習慣病予備群の保健指導の第一の目的は、生活習慣病に移行させないことである。そのための保健指導では、対象者自身が健診結果を理解して自らの生活習慣を変えることができるように支援することにある。</p> <p>被保険者の受診率は令和4年度は79.9%とほぼ目標値には届いていない状態であり、特に被扶養者の受診率は健保平均にも届かない状況にある。また、特定保健指導利用率は被保険者は実施率が向上しているが、被扶養者向けには全く実施できていないため実施方法や勧奨の仕方などが課題である。今後は事業主との連携に加えて、被扶養者へのアプローチを強化することで、目標達成に向け取り組んでいきたい。</p>

## 特定健診・特定保健指導の事業計画【第3期データヘルス計画書 STEP3から自動反映】

1 事業名	特定健診（被保険者）	対応する健康課題番号	No.3																												
↓																															
<b>事業の概要</b> <table border="1"> <tr> <td>対象</td> <td>対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被保険者</td> </tr> <tr> <td>方法</td> <td>事業主の定期健診内で実施。費用負担は健保。健診機関からXMLデータを入手し健保が保管。</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>事業主が委託した健診機関。事業主健康管理室。保健事業担当者。</td> </tr> </table>		対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被保険者	方法	事業主の定期健診内で実施。費用負担は健保。健診機関からXMLデータを入手し健保が保管。	体制	事業主が委託した健診機関。事業主健康管理室。保健事業担当者。	<b>事業目標</b> 特定健診受診率を100%に近づける。																							
対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被保険者																														
方法	事業主の定期健診内で実施。費用負担は健保。健診機関からXMLデータを入手し健保が保管。																														
体制	事業主が委託した健診機関。事業主健康管理室。保健事業担当者。																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>アウトカム指標</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価指標 内臓脂肪症候群該当者割合</td> <td>14%</td> <td>13.8%</td> <td>13.6%</td> <td>13.4%</td> <td>13.2%</td> <td>13%</td> </tr> <tr> <th>アウトプット指標</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> </tr> <tr> <td>特定健診実施率(被保険者)</td> <td>93%</td> <td>93.5%</td> <td>94%</td> <td>94.5%</td> <td>95%</td> <td>95.5%</td> </tr> </tbody> </table>		アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	評価指標 内臓脂肪症候群該当者割合	14%	13.8%	13.6%	13.4%	13.2%	13%	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	特定健診実施率(被保険者)	93%	93.5%	94%	94.5%	95%	95.5%
アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度																									
評価指標 内臓脂肪症候群該当者割合	14%	13.8%	13.6%	13.4%	13.2%	13%																									
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度																									
特定健診実施率(被保険者)	93%	93.5%	94%	94.5%	95%	95.5%																									
<b>実施計画</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用計上は各種健診費用補助金に含める。</td> <td>費用計上は各種健診費用補助金に含める。</td> <td>費用計上は各種健診費用補助金に含める。</td> </tr> <tr> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> </tr> <tr> <td>費用計上は各種健診費用補助金に含める。</td> <td>費用計上は各種健診費用補助金に含める。</td> <td>費用計上は各種健診費用補助金に含める。</td> </tr> </tbody> </table>				R6年度	R7年度	R8年度	費用計上は各種健診費用補助金に含める。	費用計上は各種健診費用補助金に含める。	費用計上は各種健診費用補助金に含める。	R9年度	R10年度	R11年度	費用計上は各種健診費用補助金に含める。	費用計上は各種健診費用補助金に含める。	費用計上は各種健診費用補助金に含める。																
R6年度	R7年度	R8年度																													
費用計上は各種健診費用補助金に含める。	費用計上は各種健診費用補助金に含める。	費用計上は各種健診費用補助金に含める。																													
R9年度	R10年度	R11年度																													
費用計上は各種健診費用補助金に含める。	費用計上は各種健診費用補助金に含める。	費用計上は各種健診費用補助金に含める。																													

2 事業名 特定健診（被扶養者）

対応する健康課題番号 No.3



事業の概要		事業目標							
対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被扶養者/基準該当者	被扶養者の特定健診受診率の目標値を達成する。							
方法	1. 被扶養者及び任意継続者が対象。 2. 健保連集合契約。被扶養者女性を対象に「巡回レディース健診」を別途案内 3. 補助金。年初に、補助金申請用紙を対象者全員に送付。	評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
体制	案内を自宅送付。随時、未申込者に勧奨葉書送付。	内臓脂肪症候群該当者割合		2.6%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%
		アウトプット指標		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
		特定健診実施率		50%	51%	52%	53%	54%	55%
実施計画									
R6年度	R7年度	R8年度							
案内の実施（5月）パート先で受診した健診結果提供の検討実施	案内の実施（5月）	案内の実施（5月）							
R9年度	R10年度	R11年度							
案内の実施（5月）	案内の実施（5月）	案内の実施（5月）							

3 事業名 特定保健指導（被保険者）

対応する健康課題番号 No.3



事業の概要		事業目標							
対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：38～74、対象者分類：加入者全員/基準該当者	メタボリックシンドロームからの脱出と特定保健指導の実施率の目標値を達成							
方法	・事業主・健診委託先で階層化を行い対象者を抽出し、意思を確認。 ・事業主側のラインを通じた案内を実施、未実施者は健保から最終確認実施 ・本社・支社・中央研究所は事業主内部の保健師が実施、工場は外部委託で実施	評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
体制	保健事業担当者。 コラボヘルスで、利用者が増えるよう体制を整える。	特定保健指導対象者割合		18.5%	18%	17.5%	17%	16.5%	16%
		特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率		40%	40%	40%	40%	40%	40%
		腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合		0%	50%	55%	60%	60%	60%
		アウトプット指標		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
		初回面談実施率		95%	95%	95%	95%	95%	95%
		特定保健指導実施率		79%	81%	82%	83%	84%	85%
実施計画									
R6年度	R7年度	R8年度							
健康診断実施後、案内を実施（随時）事業主と都度結果を共有いただく	健康診断実施後、案内を実施（随時）事業主と都度結果を共有いただく	健康診断実施後、案内を実施（随時）事業主と都度結果を共有いただく							
R9年度	R10年度	R11年度							
健康診断実施後、案内を実施（随時）事業主と都度結果を共有いただく	健康診断実施後、案内を実施（随時）事業主と都度結果を共有いただく	健康診断実施後、案内を実施（随時）事業主と都度結果を共有いただく							

4 事業名 特定保健指導（被扶養者）

対応する健康課題番号 No.3



事業の概要		事業目標							
対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～（上限なし）、対象者分類：被扶養者/基準該当者	メタボリックシンドロームからの脱出							
方法	一部委託先ではレディース健診実施時に参加勧奨を実施	評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
体制	外部委託により実施	特定保健指導対象者割合		6.5%	6.3%	6.1%	6%	6%	6%
		特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率		0%	50%	50%	50%	50%	50%
		腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合		0%	50%	50%	50%	50%	50%
		アウトプット指標		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
		特定保健指導実施率		5%	10%	15%	20%	25%	30%
実施計画									
R6年度	R7年度	R8年度							
案内を実施	案内を実施	案内を実施							
R9年度	R10年度	R11年度							
案内を実施	案内を実施	案内を実施							

5 事業名 巡回レディース健診（被扶養者）

対応する健康課題番号 No.4, No.5



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：女性、年齢：30～74、対象者分類：被扶養者/基準該当者
方法	全国健康増進協議会「巡回レディース健診」を利用。 特定健診実施時に同時受診が可能 全国健康増進協議会が運営する「巡回レディース健診」の項目に特定健診項目を含む。
体制	外部委託。

事業目標

被扶養者の特定健診受診率の低迷を解消することを第一目標。 受診機会の少ないことを鑑み主要な健診項目が網羅されるよう設定。							
評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	内臓脂肪症候群該当者割合(被扶養者)	2.6%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	受診率	47%	48%	49%	50%	51%	52%
	特定健診実施率(被扶養者)	47%	48%	49%	50%	51%	52%

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
案内の実施（5月） 勧奨の実施（9月-10月）	案内の実施（5月） 勧奨の実施（9月-10月）	案内の実施（5月） 勧奨の実施（9月-10月）
R9年度	R10年度	R11年度
案内の実施（5月） 勧奨の実施（9月-10月）	案内の実施（5月） 勧奨の実施（9月-10月）	案内の実施（5月） 勧奨の実施（9月-10月）

達成しようとする目標／特定健康診査等の対象者数								
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
特定健康診査実施率	計画値 ※1	全体	1,713 / 2,101 = 81.5 %	1,727 / 2,101 = 82.2 %	1,739 / 2,101 = 82.8 %	1,753 / 2,101 = 83.4 %	1,767 / 2,101 = 84.1 %	1,779 / 2,101 = 84.7 %
		被保険者	1,431 / 1,538 = 93.0 %	1,439 / 1,538 = 93.6 %	1,446 / 1,538 = 94.0 %	1,454 / 1,538 = 94.5 %	1,462 / 1,538 = 95.1 %	1,469 / 1,538 = 95.5 %
		被扶養者 ※3	282 / 563 = 50.1 %	288 / 563 = 51.2 %	293 / 563 = 52.0 %	299 / 563 = 53.1 %	305 / 563 = 54.2 %	310 / 563 = 55.1 %
	実績値 ※1	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被保険者	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被扶養者 ※3	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
特定保健指導実施率	計画値 ※2	全体	228 / 287 = 79.4 %	233 / 287 = 81.2 %	237 / 287 = 82.6 %	239 / 287 = 83.3 %	242 / 287 = 84.3 %	245 / 287 = 85.4 %
		動機付け支援	97 / 122 = 79.5 %	99 / 122 = 81.1 %	101 / 122 = 82.8 %	102 / 122 = 83.6 %	103 / 122 = 84.4 %	104 / 122 = 85.2 %
		積極的支援	131 / 165 = 79.4 %	134 / 165 = 81.2 %	136 / 165 = 82.4 %	137 / 165 = 83.0 %	139 / 165 = 84.2 %	141 / 165 = 85.5 %
	実績値 ※2	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		動機付け支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		積極的支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %

※1) 特定健康診査の（実施者数）／（対象者数）

※2) 特定保健指導の（実施者数）／（対象者数）

※3) 特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、特例退職被扶養者、任意継続被保険者、特例退職被保険者を含めてください。

### 目標に対する考え方（任意）

健康診断の実施率向上に向けては  
被保険者については、法定健診を受診しているが、標準的な設問項目で欠落があり評価対象外となる方のデータを整備することで受診率を向上させる  
被扶養者については、案内方法を見直し、受診率向上へつなげる。  
特定保健指導については、アプローチを強化し、実施率向上へつなげる。

### 特定健康診査等の実施方法（任意）

被保険者は定期健診時に実施します。  
被扶養者は、巡回健診、人間ドック等を利用して実施します。

### 個人情報の保護

当健保は、日本ハム健康保険組合個人情報保護管理規程を遵守します。  
当健保組合及び委託された健診、保健指導機関は、業務によって知りえた情報を外部に漏らすことはありません。  
当健保組合のデータ管理者は、常務理事とします。また、データの利用者は当健保職員及び事業主健康管理室医師及び看護師に限るものとします。  
アウトソーシングやコラボヘルスする場合は、データの利用範囲・利用者等を契約書に明記します。

### 特定健康診査等実施計画の公表・周知

本計画は、ホームページに公表し周知します。

### その他（特定健康診査等実施計画の評価及び見直しの内容等）

当計画は、健康管理事業推進委員会、組合会等に進捗を報告し定期的に見直し等を行います。